

事業の基礎情報

事業実施地域	川崎市宮前区平地区、麻生区片平地区
人材育成の対象	地元協議会のメンバー（地域居住者）、地域事業者（クリニック、薬局、小売店の職員等）
人材育成の手法	モビリティサービスの運行実験と連動した実践型ワークショップの反復によるアクティブラーニング
人材育成の内容	小量輸送サービスやお出かけづくりの企画運営（プランナー）・移動データの読み解きとマーケティング（アナリスト）・広報と協賛獲得（プロモーター）・会計（アカウンタント）・お出かけづくりでのコンテンツ提供（アクター）
想定育成人数	60名程度：30名（プランナー5＋アナリスト3＋プロモーター10＋アカウンタント2＋アクター10）×2地区

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

川崎市では、コミュニティ交通の運営において、地元の協議会（有志住民の団体）が主体となり取り組んでおり、持続的な取組においては、協議会の運営に携わる人材の高齢化が進む中、採算性を確保するための運行計画の検討や協賛等の運賃外収入の獲得に向けた施策の立案や実行を担える人材の確保が課題となっている。本事業では、補助に依存しない持続可能なコミュニティ交通およびお出かけづくりの運営に必要なジョブとして、プランナー、アナリスト、プロモーター、アカウンタント、アクターを想定し、それらの役割を個人の適性（知識、技能、経歴等）に応じて割り当てながら、チームとして機能する人材群（コミュニティ）の育成を実践的に行う。

（事業の概要）

地元協議会や地域団体・企業等のメンバーを育成対象者として位置づける。育成対象者は、以下の2テーマに関するワークショップへの継続的な参加を通じて、プロジェクト企画運営のノウハウ、人々の移動・活動データの見せ方や読み方、利用者・支援者の拡大に向けたプロモーションや交渉のしかた、リソースやアセットのマネジメント、サービスやコンテンツの提供のしかたを学び、適材適所で必要なジョブを担う。このコミュニティ育成プログラムでは、川崎市によるコミュニティ交通の運行実験のフィールドをアクティブラーニングの場として用いる。

- モビリティサービスコミュニティの育成：運行の企画立案・分析・改善計画・実行／マーケティング、会計手法、協賛獲得
- お出かけづくりコミュニティの育成：お出かけづくりの企画、立案、広報、実施

取組の詳細

(事業により見込まれる効果)

本事業により、コミュニティ交通および地域活性化に寄与する外出目的づくりの運営に貢献できる人材60名の育成を目指す。この60名が同地域における後継者人材の育成も行い、担い手の確保を持続させていく。一方、他地域にもフィールドを有する企業や団体等に属する人材は、そのノウハウを横展開することで、他地域で同様の人材育成プログラムを構築することが可能である。その結果、持続可能なコミュニティ交通の導入と、地域コミュニティの活性化の拡がりが見込める。

(事業実施手順・スケジュール)

項目	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
補助申請等	申請	決定	※ WS : ワークショップ（自治体、コンサルタント、学識経験者、地域居住者、地域事業者等が参加） WS① WS② WS③ WS④ WS⑤ WS⑥ WS⑦ WS⑧								実績報告
モビリティサービス コミュニティ育成	全体企画	運行計画	体制構築 広報活動	データ取得 営業活動	モニタリング 改善行動	モニタリング 改善行動	モニタリング 改善行動	モニタリング 改善行動	効果検証 課題整理	マニュアル化 仕組化 人材継承	
お出かけづくり コミュニティ育成		実施計画	キャスト 広報活動	実践 （イベント）	実践 （イベント）	実践 （イベント）	実践 （イベント）	実践 （イベント）	効果検証 課題整理		
コミュニティ交通運行 実験（別事業）		21条申請		小量乗合輸送サービス運行実験（2地区）							

(補助事業実施後の予定)

本事業で育成されたメンバーにて、コミュニティ交通の持続的な運営を実施する。コミュニティ交通の導入においては、車両購入費等は川崎市の支援メニューの活用が可能である。

また、育成された本メンバーにより、本市の他地区での横展開を図っていく。